

2020年度 第41回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門  
アナウンス部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など
----	----	------

【審査員】

仲山 豊秋	元NHK大阪放送局（主審）
西田 恵二	府立泉北高等学校長
田名瀬 さゆり	府立桜塚高等学校
竹中 泰子	相愛高等学校
勝見 昌浩	プール学院高等学校
山本 武彦	浪速高等学校
安田 知博	放送部インストラクター
森本 小規子	帝塚山学院高等学校（計時・原稿チェック）

7人の審査員が100点満点で採点し、合計700点で評価しました。  
その上で、規定違反(原稿通り読めていない等)について減点しました。  
その得点を基準として、上位3位を優秀賞、続く3人を奨励賞としました。  
また、入賞まで30点以内をA評価、60点以内をB評価、それ以降をC評価としています。  
審査員からいただいたコメントをまとめ、「講評など」として掲載しています。

※ 審査番号順に掲載しています。

個人情報保護のため、学校名・名前の掲載は控えさせていただきます。

大阪府高等学校視聴覚教育研究会 放送コンテスト委員会

2020年度 第41回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門  
アナウンス部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など
1	B	声のゾーンの使い方に注意しよう。スピードはゆっくりで聞きやすく話し方も積極的だが、語尾の伸びが気になります。
2	B	ポーズの使い方としゃべりのスピードに気を付けよう。落ち着いた口調で読めていましたが、話すように読むのが課題です。
3	C	読みの基本に立ち返ってみよう。高音を使えると表現の幅は広がります。アナウンスではキーワードを的確に伝えるのが重要です。
4	B	声安定しているのがよかったですが、マイクから遠いのが気になりました。滑舌や語尾の読み、プロミネンスの部分を改善するが今後の課題です。棒読みに聞こえるので注意しよう。
5	優秀	声に幅があり、話すように読めているアナウンスでした。滑舌に注意を払うと、より良いものになります。しゃべり方は積極的でよかったです。
6	奨励	発声がしっかりしたアナウンスでした。今後、うねりにも気をつけて、話すようなアナウンスを追究しよう。ドキュメントとアナウンス・両方の言葉遣いを勉強しよう。
7	A	声がよく通っていましたが、話題と雰囲気合わせるのが課題です。滑舌(特にサ行)や語尾にも注意を払おう。
8	優秀	聞き手を意識したアナウンスで取材を重ねたことも伝わってきましたが、自然な息遣いに気を付けることでより完成度の高いものをめざそう。マイクからやや遠い印象を受けます。
9	B	声幅(特に高音)の確保と緩急でより印象的なアナウンスになります。お店の名前や商品名は大変重要なので丁寧に読もう。最後の文を再検討してみよう。
10	欠	
11	C	固有名詞をしっかりと読むことと滑舌を鍛えることを特に意識しよう。急いで読んでいる感じでした。聞き手を念頭に置いて話す速度にも注意しよう。
12	A	発声や表現はよいが、「読んでいる」アナウンスになっているので語り掛けるイメージでやってみよう。リード文は誰にでもわかるように工夫を。
13	C	取材をしっかりして、映像が浮かぶように原稿を工夫しよう。数字による説明が多すぎた印象です。もっと元気がほしいです。高い声域で練習しよう。
14	優秀	細やかな音声の転換がよかったです。リスナーを意識したアナウンスでしたが、速くなってしまったところもあったので注意しよう。内容面では事実関係が難しかったです。
15	B	単調に聞こえてしまうので、声幅を広げる努力をしよう。内容としては、伝えたい事柄をしばらく。リスナーがゆずるくんを見たことがない前提で伝えよう。
16	C	「読む」アナウンスになっているので、リスナーを意識し、覇気のあるアナウンスにするのが今後の課題です。間のあけかたも工夫しよう。
17	奨励	全体的に同じ声量のアナウンスになってしまっていました。取材をしっかり重ねたことが伝わってきました。
18	欠	
19	A	一つの事象は一塊で伝わるように間の取り方に気を付けよう。丁寧な読みだが、母音の練習をすると音がクリアになります。
20	B	原稿を「読んでしまって」いるのがもったいないです。発声はできていますが、アナウンスの形式に注意しよう。内容面では、高校生が行きたくなるスポットを紹介してください。

2020年度 第41回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門  
アナウンス部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など
21	B	広い声幅で音声のバラエティさを感じるが、リズム感が感じられないのが課題です。リスナーを意識することを心がけよう。逸話ではなく、独自に取材したことを紹介してください。
22	奨励	自然な息遣いのアナウンスになっています。取材の努力がうかがえますが、今を伝えるホットな情報がほしいです。表現の工夫が今後の課題です。
23	B	一生懸命さがよく伝わりました。誰かに語り掛けるアナウンスを心がけよう。母音の発音に気を付けよう。
24	B	声幅に気を付けて元気で勢いのあるアナウンスをめざそう。伝えるために固有名詞を丁寧に読むことも必要です。ややマイクから遠かったです。
25	A	丁寧なアナウンスですが、一続きに聞こえてしまうので改善の余地があります。練習を重ねることと、原稿の表現を練ることも意識していこう。
26	B	「語り掛けるアナウンス」をめざそう。そのために言葉の切れ目を減らすことや滑舌にも気をつけてみよう。伝聞は不用意に使わないように気をつけよう。
27	A	キーワードが聞き取りやすく、練習を重ねたことがよく伝わりました。もう少し自然な読みを追究してみよう。コメントが長かったのが気になりました。
28	A	アナウンスの際も、普段の自然な息遣いを思い出してみよう。伝えたいことが聞き手に届くアナウンスでした。取材もがんばっています。
29	B	興味深い題材でした。折角なので取材をしっかりやってみよう。聞き手を意識したアナウンスが今後の課題です。音域をもう少し広く使ってみよう。低音に頼りすぎて苦しく聞こえます。
30	A	間の取り方等、工夫の見られたアナウンスでしたが、まだまだ「読む」アナウンスになっています。うねりや発音にも注意を払ってみよう。
31	A	スピードに変化がなくてフラットなアナウンスになっています。マイク使い、リスナーを意識しようとした点がよかったです。個々の表現をもう少し工夫してみよう。
32	A	音のバラエティー性の富んでいたのがよかったです。うねり等にも気をつけてより完成度を高める努力をしていこう。いきなり詳細な地名から入るのは伝わりにくいので気をつけよう。
33	欠	
34	B	口を大きく開けて話すことが今後の練習のカギの一つです。間の取り方が上手なアナウンスでした。自分の言葉で伝えることを意識しよう。
35	B	内容の核が掴みにくいので、伝えたいことを絞り込みましょう。やや、ささやき調です。声(息)をしっかり出し切ってみよう。